

令和元年度 第13回政策推進会議報告

日時 10月23日 9時30分～10時18分

場所 4-1会議室

出席者 20人

1 「あますいビジョン2029（素案）」に対する市民意見公募手続の結果について

公営企業管理者から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）災害対策のブロック化というのは全国的に見ても一般的になりつつあるのか。
→そうである。市域にもよるが、取り組んでいる自治体は多い。
- ・（市長）様式の記載方法の話になるが、真っ向から違う考え方をしているような意見に対して、「既に盛り込み済み」と記載するのに少し違和感がある。
→いただいた意見に関する問題点や課題については既に認識しており、その対応・対策を盛り込んでいるという意味合いで記載している。
- ・（市長）他の案件でも言えることだが、「同じような考え方は盛り込まれている」というタイプのもので、「真っ向から意見は違うが、そのテーマについては盛り込まれている」というタイプのものの両方が「既に盛り込み済み」のカテゴリに分類される。この表の作り方を少し工夫して、例えば違う意見に対して説明責任を果たすというものばかり固めるなどしてはどうかと思う。今後のバージョンアップに繋げてほしい。
- ・（市長）阪神水道企業団の今後のあり方についてもまとまりつつある。二部料金制が導入され、尼崎市の受水費は抑制されるという方向で調整されている。正式に決まったら報告をお願いしたい。
→来年度から受水費は億単位で減っていく見込みである。またご報告する。

2 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果報告について

教育次長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・1ページ目「4 教科に関する結果の概要」で、「いずれの学年・教科も±5ポイントの範囲内にあり」とあるが、下の表では-4から-1となっている。見方が違うのか。
→±5ポイントが平均という取扱いになっており、その範囲内にあるものの、やはり全国と比べると低いということを示している。
- ・小学校を見る限り、改築した学校のほうが比較的良い成績であるように見受けられるがどうか。
→教育環境はやはり大事で、一番は教師の頑張りであるが、古い学校から新しくきれいな学校に移ると子どもは落ち着く傾向にあるのは事実。しかし、必ず全ての学校で改築等ができるわけではないので、それぞれの学校で頑張ってもらっている。
- ・（市長）下坂部のようにすごく伝統があって成績も良い学校ももちろんある。ただ、やはり割れ窓理論的なものはあるかもしれない。校舎がきれいになったところでは児童生徒が落ち着いたという感覚的な話は先生方もよく口にしている。

- ・(森山副市長) 学校ごとに同じような分析をして授業改善のポイント等をアドバイスしていくような形になっているのか。
- 市のほうで着眼点となるものを用意し、各学校に渡している。それで授業をチェックしてもらい、かつ、指導主事が回ることで、各学校を同じ視点で見ようという形は取っている。しかし、この結果から見てどこに重点を置くかは学校によって変わってくる部分があるので、そのあたりはセンターのほうで教師を集めて話をしていけないといけないと思っている。
- センターでステップアップ研究部会というものを設置し、各学校の学力向上担当の先生たちが集まって分析の仕方や表の見方について研究している。あとはそれを自分の学校でどう活用するか。
- ・(森山副市長) せっかく学校別にデータを出しているのに、その学校の特徴に応じた改善のポイントがあるのかなと思った。
- ・(市長) ただ、あまっ子ステップ・アップ調査のほうを分析しないと、これではわからないことが多すぎる。例えば小学校でも、正答数の棒グラフで0~6問のところ突出してしまっているところはいくつかある。しかし、その学校ではどの学年もそうなのか、たまたまこの学年がそうなのか、そこがわからない。あまっ子ステップ・アップ調査では、全ての学年を調査することで、1つの学年の経年変化も追えるし、学年によってバラつきが大きいのかそうではないのかというところもデータを取っている。そこで、どの学年も同じ傾向が出る学校は、少し力を入れて学校の取組を徹底しないといけないということになるし、学年ごとにバラつきがある場合は、生活実態調査のほうをよく見てあげないといけないのかもしれない。そういう細かい調査はあまっ子ステップ・アップ調査でやりつつ、この全国学力実態調査は母数が多いということが最大の利点なので、そこをしっかりと照らし合わせながらやるということで、ここ数年は両方の分析で高めていければいいと思う。少なくとも、あまっ子ステップ・アップ調査も含めて、分析の仕方をまず各学校に浸透させるというのが非常に大事なことだと思う。これまでの10年でここまで来たので、次の10年でもう少し踏み込んだところまで行けるように取組を進めていきたい。

3 その他

- 総合政策局長から、忍たま尼崎地名めぐりシールラリーについて説明。
- 危機管理安全局長から、令和元年台風第19号に係る被災地支援の状況について説明。

以 上